

土地利用計画図

開発許可
年月日

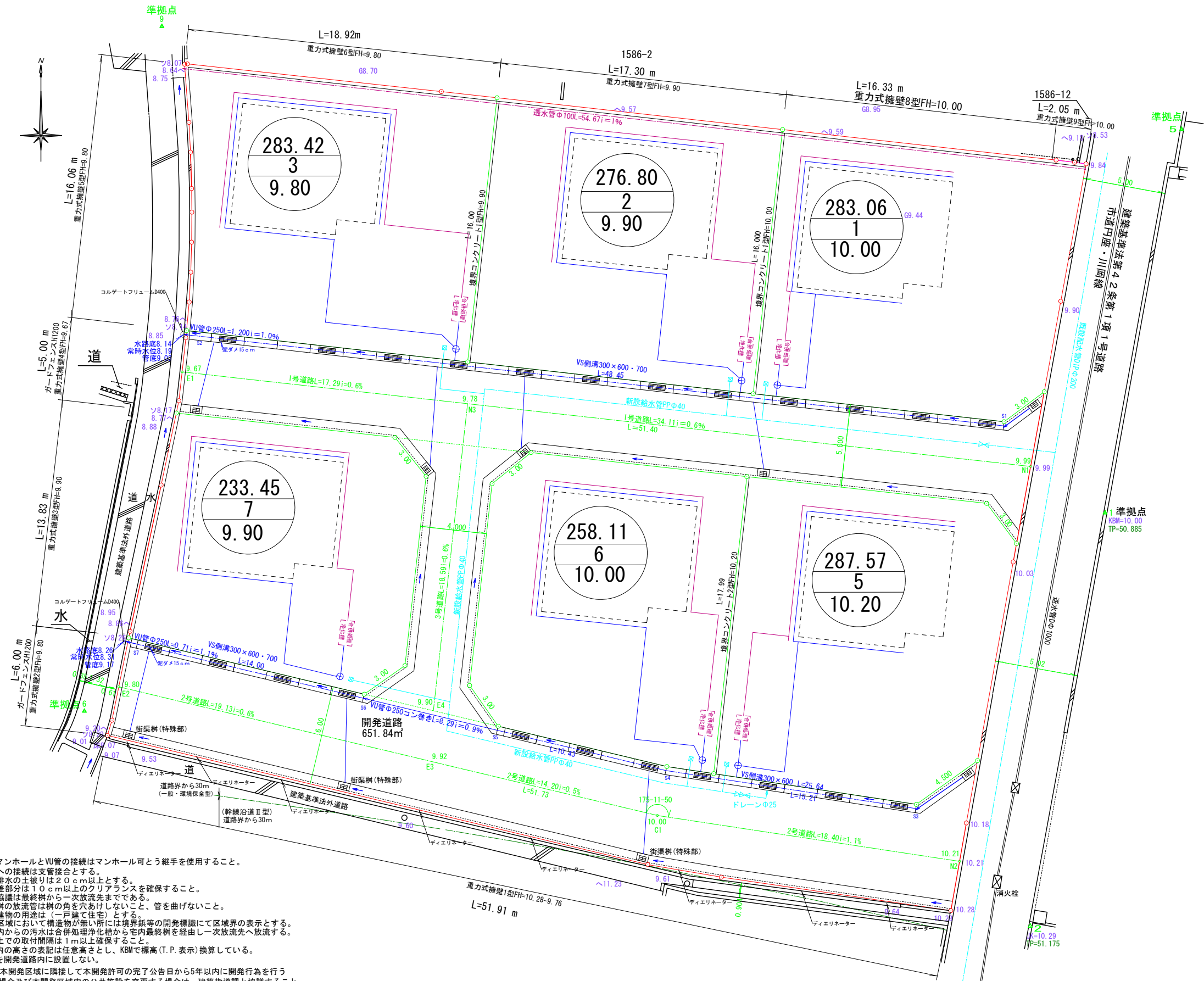
第 令和
年 月 日
号

申請者

ロータリーハウス
ホールディングス株式会社
代表取締役 増元 竜彦

作成者
住所・氏名

高松市円座町1580番地10
土地家屋調査士
宅地建物取引士
二級建築士 岡野上 竜二 (印)



| 凡 例 | |
|-----|--|
| | 面積 |
| | 区画番号 |
| | 計画高 |
| | 流水方向 |
| | 土被り0.6m以下、 コンクリート保護 |
| | 集水樹から VUφ150 1%以上 |
| | L型側溝 |
| | 最終樹φ350から VUφ150 i=1%以上 土被り0.6m以下、 コンクリート保護 |
| | 泥だめ15cm |
| | 給水管PP20 重水器 |
| | 水道管仕切弁 φ40 |

注) マンホールとVU管の接続はマンホール可とう継手を使用すること。
本管への接続は支管接合とする。
管内排水の土被りは20cm以上とする。
管交差部分は10cm以上のクリアランスを確保すること。
開発協議は最終樹から一次放流先までである。
街渠樹の放流管は樹の角を穴あけしないこと、管を曲げないこと。
予定建物の用途は「戸建て住宅」とする。
開発区域において構造物等には境界線等の開発権限にて区域界の表示とする。
区域内からの汚水は合併処理浄化槽から管内最終樹を経由し一次放流先へ放流する。
本管上での取付間隔は1m以上確保すること。
図面内の高さの表記は任意高さとし、KBMで標高(T.P.表示)換算している。
電柱を開発道路内に設置しない。
注) 本開発区域に隣接して本開発許可の完了公告日から5年以内に開発行為を行う
場合及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は、建築指導課と協議すること。

縮 尺 S=1:250